

大麦管理特報 ~第6号~

令和4年5月19日

黒東地域農業技術者協議会

大麦の出穂後の気温は平年並み~やや高めに推移しており、今後も平年並みに推移すると予想されています。

適期刈取りに努めるとともに、刈取りに「雑草種子の除去」及び「赤かび病などの発生状況の確認」を行いましょう。また、コンバインの清掃を徹底し、粃などの混入防止に努めてください。

1. 雑草種子の混入防止

- カラスノエンドウの種子は、混入すると除去が困難です。



収穫前に
必ず抜き取りましよう

2. 赤かび病などの被害粒の混入防止

- 赤かび粒、麦角粒の混入限度は、「0.0%」です。
- 被害粒が収穫物に混入しないよう、事前には場を確認してください。
- 赤かび病などの被害粒がある場合は、地区担当の営農指導員に連絡いただくとともに、被害粒が健全粒に混ざらないよう収穫は別扱いしてください。



3. 大麦の収穫時期の目安

- 大麦の収穫時期は、出穂期の早いところで5月30日頃からと予想されます。
- 刈取りは、穂軸や茎、葉が完全に黄化し、子実水分が30%以下となった頃から開始してください。

